



シリーズ222

高めよう!
人権意識

心のかけ橋

問 人権・生涯学習課
(☎928-1006)

福山100NEN教育

「21世紀型スキル&倫理観」の育成に向けて

子どもたちが生きるこれからの社会は、変化の激しい先行き不透明な社会であるといわれています。このような社会を生きていく子どもたちには、知識や技能はもちろんのこと、知識を活用し、多様な価値観をもった人々と一緒に課題を解決したり、新たな価値を生み出したりする力が必要です。

教育委員会では、こういった力を「21世紀型スキル&倫理観」として日々の授業を中心とした全ての教育活動の中で育み、日常のさまざまな場面で行動化できる確かな学びにしていけることを「福山100NEN教育」として取り組んでいます。

人との関わりつながりの中で
お互いを尊重する心

各学校では、子どもたちが自ら課

題を発見し、話し合いを通して考えを交流したり意見の違いから思考を深めたりしながら、人との関わり、つながりを大切に。「自ら考え学ぶ授業」づくりに取り組み、日々の授業と行事や体験学習などを関連付けながら、お互いの人権を尊重する心を育んでいます。

例えば多くの小学校では、総合的な学習の時間などで地域の人をゲストティーチャーとして招待し、昔の遊び体験や茶道体験・史跡巡りなどの伝統文化体験活動を行っています。地域の人と一緒に活動し、さまざまなことを教えてもらうを通して、伝統文化の素晴らしさに気づくだけでなく、地域の人に感謝し、地域のためにできることを考えて行動する子どもが育っています。



そうした子どもたちの心は、運動会や学習発表会などの時に、地域の人に出す招待状にも表れています。

来てくれた地域の人から、温かい声かけや励ましをもらう中で、子どもたちは人と関わることの楽しさを感じたり、達成感を味わったりしています。

相手と分かり合おうとする心

現在、約3割の公立小中学校で、手話を取り入れた学習発表会での合唱、総合的な学習の時間における手話の体験学習などを行っています。

西幼稚園、西小学校、城北中学校では幼・小・中と一貫した難聴教育に取り組み、簡単な手話を掲載した幼稚園だよりの発行、電子黒板を活用した分かりやすい授業づくり、手話通訳を取り入れた全校集会などを行っています。子どもたちは手話に親しむとともに、相手の考えを聞いたり、自分の思いを伝えたりすることの大切さを学び、授業での話し合いなどにつなげています。

今後もさまざまな人々とのつながりを大切に「福山100NEN教育」を推進していきます。思いやり・やさしさ・助け合いの心「ローズマインド」をもってたくましく生きる子どもの育成に市民一丸となって取り組んでいきましょう。

問 指導課 (☎ 928・1170)

いつまでも だじにするよ おともだち